

つくばね祭

第3回

1968

10 / 31 11 / 1.2.3

統一テーマ※離陸

流通経済大学

# 《統一テーマ》

## 離 陸



写真提供 日本航空株式会社

### 基本方針

「離陸 (TAKE・OFF)」, 簡潔な言葉でもイメージは大きく羽ばたきます。広い地面に1本の滑走路が敷かれ銀色に輝く飛行機が、今、地面から離れようとする。その光景がはっきり網幕に焼き付いていること誰でも知っているだろう。銀色の機体が力強く大空に立ち行く姿は、我々に希望を与えてくれます。その勇飛を合衆国の経済学者W・W・ロストウは、彼の学説の中で経済発展5段階説を説きました。伝統的社会・離陸のための先行条件期・離陸・成熟への前進・高度大衆消費時代の5段階成長理論である。この中で飛躍することを例えてTAKE・OFFと呼称しました。離陸とはこのように新しい希望を目指しての脱皮であると思います。流通経済大学は開学されて4年目を迎え大学としての機能を十分に発揮すべき時となりました。新しく誕生した当大学はすべて自からの力で大学を築かねばなりません。これまで学長を始め教授陣の熱情は新天地を切開くフロンティア精神をもって流通経済大学のより望ましい大学の存り方を探求して来ました。第1回における統一テーマ「学生の存り方」は、現在の学生が置かれている立場を深く認識させたそして、学生の新しい息吹をかける行動に直接結びつけて我々の大学を築き上げて来まし

た。第2回は、テーマ「創造」を掲げ、流通経済大学においては将来に向けて何かを生み出さなければならない。そして生み出したものを大学の発展に寄依するような方法への探索でした。我々が投げかけた「離陸」も大学の確立、新しい理念への探求を目指す一連のものなのです。新しい理念への探求は今日、富に高まる大学紛争の中にあって主要な課題になっています。全国各地において大学紛争は起り、新しき希望の道を求めて葛藤しています。新しい理念は求められています。世界各地において学生が大きく社会をゆさぶっている状況を知る度に世界の仲間も呼応している事を感じる。日本における問題の特殊性ばかりではないのです。学生運動と言われ、その行動に排他の感を持たれながらの根強い改革への要求は、打ち寄せる波の如く、消えることなく続けられています。これらの実情の中に今、我々は立たされていることを把握しなければなりません。我が大学は新生大学である。新しい大学理念への探求を行なうには、絶好の場であると確信します。我々がここに「離陸」を提示したのも、流通経済大学の発展を期し、内外への十分な浸透を見るものなのである。

だからロストウの学説に抱束されるものではなく、実際に大空へ飛び立つ瞬間時の意義をとらえたい。

大学が今年4年次を迎えることを一つのきっかけにして飛躍しようと試みるのである。この離陸が永遠の離陸になるものではない。学生の主体性が全学において確立する。また流通経済分野の夜明けを告げる鏡を空高くひびかせるその先駆者になる為への離陸である。

我々がこの離陸期をどうとらえるかが問題となるのです。深く認識し、進歩への駆動となる活動を積極的にとって成し得たならば、新しい大学の理念の創造へ接近することになる。

第3回つくばね祭がその基点になるよう一層の充実を図ったのもその為である。全学シンポジウムはその中心に位置し、ゼミナール企画の参加を加えた。さあ離陸だ。力強く飛躍し、成長への道を歩もう。我ら自らの手で!





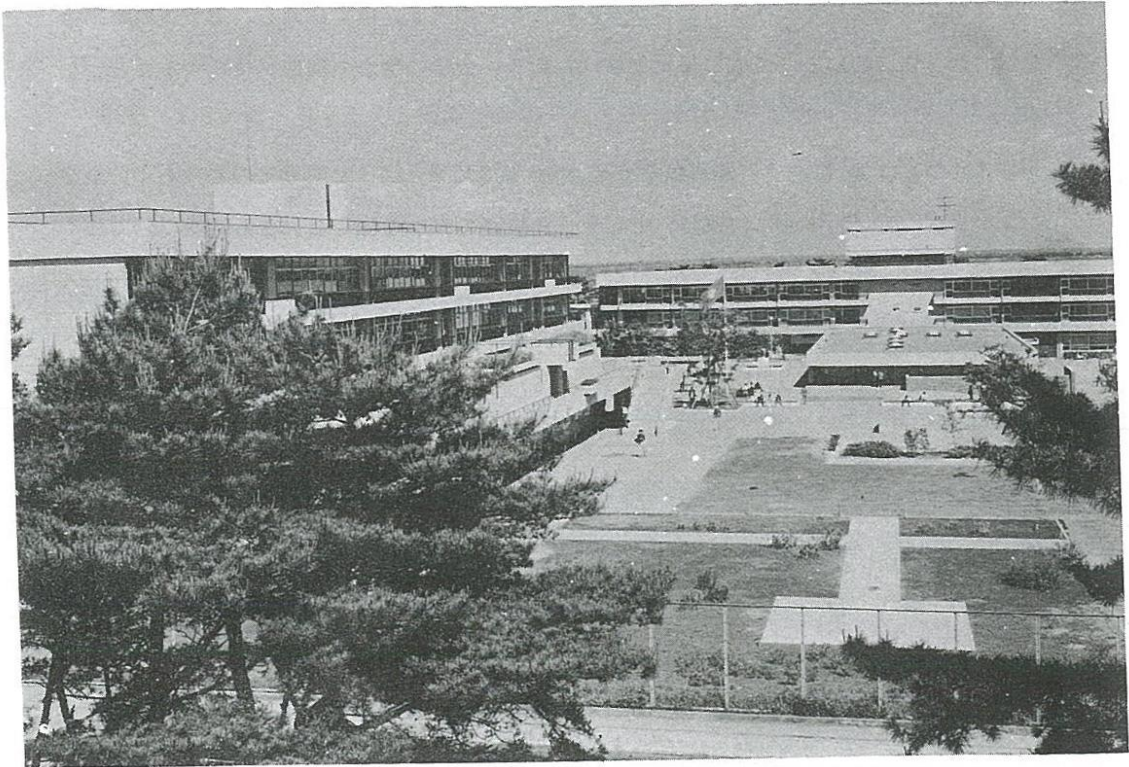
## 大学祭を迎えるにあたって

学 長 島 田 孝 一

清涼の秋を迎えて、本年もまた、わが流通経済大学が「つくばね祭」と呼ぶ大学祭が催されることになった。

本年は、わが大学が完成年度に達した年である。従って、昭和40年の春、第1回の入学生として本大学の学生となった諸君は、明年3月にはめでたく卒業して社会人となるわけであるから、これらの諸君は、大学生生活の最後の年の思い出として、特に力を入れて、大学祭の企画にも秀でたものを作り上げていただきたいと希望するとともに、この祭典を心ゆくまで楽しんで下さるようお願いしたい。

遠く富士を望み、近く筑波を眺めることのできるわが学園で、日頃学問の研究に勤しんでいる諸君が大学創立の記念日を中心とする数日間にわたり、日常の生活とはまた異った雰囲気の中に、楽しい時をすごして下さるならば、それはまことに結構なことである。願わくは、この大学祭をして、単にいわゆるお祭に終らせることなく、それが友情を深める機会ともなり、あるいは将来の飛躍を期する緒ともなるならば、わたくしとしてこれにまさるよろこびはないのである。





## つくばね祭のあいさつ

つくばね祭実行委員長 柳 沢 孝 雄

常緑の松林に囲まれた龍ヶ崎の閑寂な高台にそびえ立つ私達の学園にも、冷たい筑波下しが吹き初めようとする霜月のこの日に、つくばね祭を開催することになりました。

私達の流通経済大学は昭和40年4月に開学し、はや4年間経過し、桜の花咲く三月には、晴れて一期生を送り出すことになりました。

今回のつくばね祭は、一期生、二期生が開催した大学祭を踏み台として、日々向上心に燃える三、四期生を加え、ここまで築きあげてまいりました。

この完成年度とは、滑走路を離れんとする銀色のジェット機と同様である。この物体にとって、離陸の際には、より大きな原動力が必要であろうし、又、目的地に達する為には、詳細なデータが必要とされるであろう。

この原動力とデータこそが今我々に必要なものである。

今年第三回つくばね祭のこの瞬間こそ、まさに我々にとって飛躍の時点である。

自ら自覚し、考え、語り合い、共に邁進しようではないか。

最後にこのつくばね祭にたいして、市民の皆様や各方面の御協力を始めとして、一般学生、クラブ活動、ゼミナール等の協力により、ここまでつくばね祭を進める事ができたことに対して感謝申し上げます。

# 音楽祭

文化局

## 軽音楽部

私達軽音楽部は、現在ジャズ・フォーク・R&Bと3パートに分かれて活動致しております。今回の音楽祭で、その練習の成果を皆様方に、御聞きいただける事は、光栄の致りでございます。又、この催しを広いステージの育体館で行なえれば良かったのでありますが、皆様方に、なるべく良い音で、しかも聞きやすい場所をと願ったので、この様な、ちょっとせまい所で御聞き願うわけです。昨年と、同様であります。質的に向上致しておりますか否か。皆様の耳で批評していただければ、幸いです。皆様方の御意見は、我々のはげみになることでありましよう。皆様の御来場をお待ち致します。

## メンバー紹介

### ザ・ストロベリーフィールズ

- 田 口 一 美 (リーサイドギター)
- 藤 原 雄 次 (リードギター)
- 早 川 昭 夫 (ベースギター)
- 木 野 純 一 (ボーカル)
- 前 田 耕 志 (ボーカル)
- アンド・アイ・ラヴ・ハー
- オール・マイ・ラヴィング
- イエスタデー etc

### ザ・ゼロ

- 斉 藤 信 克 (ドラム)
- 皆 川 憲 一 (ベース)
- 藤 田 剛 (ボーカル)
- 戸 田 勝 信 (リードギター)
- 森 考 洋 (サイドギター)

### 曲 目

- 好きさ好きさ
- 思い出の渚
- なんのために etc

### ジャズ・バンド

- ジョニイウォーカーズ
- 未 定

### ザ・フォー・フロンティアーズ

Ten, Banjo. 泉 本 勝 博  
Ten, Guit. 小 川 諄  
Bar, Guit. 嘉 瀬 宏  
Bass, Bass. 宮 本 靖

曲 目 イエスタディー, トライトゥリメンバー  
木葉の丘, 7つの水仙 etc

皆皆様おなじみの全員4年のフォーク・バンド, 昨年12月から就職準備のため活動を一時中止していましたが, 最後の学園祭なので全員ハッスルして練習しました。すばらしいハーモニーをお楽しみ下さい。

### ザ・ドラゴンズ

松 本 誠 二 (ギター) テナー  
渡 辺 勉 (G. バンジョー) バリトン  
飯 田 克 行 (ベース) バリトン  
鈴 木 次 男 (テナーG) バス

#### 曲 目

○紀元式千年  
○イムジン河  
○戦争は知らない etc

### グリー同好会

40年暮に結成以来, ひっそりと静まりかえった教室の片隈で, 地味な活動をしてきました。現在も部員は8名しかいません, でも私達は歌が大好きです。そして自分達の声で音をハモらすことがこのうえない喜びなのです。歌う楽しさを合唱という型で味わおうというグリー。

確かに私達の合唱はまだまだ「うまい合唱」「美しい合唱」とは言えません。しかし下手も下手なりに努力をして, レパートリーも年々増え, 20曲を越えるようになりました。ここであらかじめお断りしておきますが, 演奏会などでお聞きになるような「うまい合唱」は, ここでは忘れてもらって, 楽しく口ずさむ「歌声」的なものを頭に置かれ, お聞きください。

曲 目 組曲「月光とピエロ」より

1. 月 光
2. 秋のピエロ 他

## アダム・スミスの 人と学説

永田ゼミ  
A 307

我ゼミ員一同は、現在のゼミ内容に即し、経済学の基礎を成したかの A. Smith についての研究調査をここに発表する。とはいっても、前期試験が終わって大学祭までわずかに一ヶ月。決して十分な成果があげられるはずもない。しかし我々は、全員の努力によってこれだけのものを展示できたことに対し満足するとともに、幸福だと思っている。それとともに、未完成ながら、展示品が御覧になる方に何らかの知識を与え、あるいは何らかの参考になれば幸いだと思う。

アダム・スミスは、我々経済学史を専攻した者にとってまず学ばねばならぬ学者の一人であり、彼の学説は矛盾に満ちているとはいえ、リカードウ・マルサス等に与えた影響は大なるものがある。我々は、そのような矛盾をここに掲げつつ、現在との関連において、彼を見ていきたいと思う。しかと御覧あれ!!

## 明・暗の日本農業

矢野ゼミ  
A 308

日本の農業は、明治維新時の地租改正、第二次大戦後の農地改革という歴史の変遷を経ながら成長してきた。だが、この成長が果して「明」の面だけを持った成長であったろうか。必ずや、「暗」の面を包含していたに違いない。

では現在の日本農業はどうであろうか。相変わらず「明」と「暗」の両面を有している。現在の農政における重点政策である生産者米価の問題は経済問題としても大きくクローズアップされ、その基礎である食糧制度が行き詰りの状態に到達している。日本の農業問題はこれだけではない。農畜産物価格の不安定、農地の流動性の固定化、輸入農産物の激増、外国農産物、外国資本の攻勢等の問題をその体内に持つ重病人と化してしまった。

しかし、以上のような「暗」の面だけが強調されるのではない。農業技術の進歩、それとともに生産性の大幅な躍進、生産の高度化等の「明」の面も強調しなければならない。

以上のような、「明」と「暗」の両面を持つ日本農業に焦点を当てながら、我々矢野ルームは、「第3回つくばね祭」を機会に日本農業の問題をより多くの人に知ってもらうことを目的として発表する次第である。

なお、発表に際し、見学者諸氏の御意見、御吐正を期待して止まない。

季節の創作紳士服



村井洋服店

竜ヶ崎新町 TEL(2)2784

秋 思い出を  
ペトリカラー35で...

カメラのヨシダ

カラープリント 2分間写真  
竜ヶ崎市駅前通り (2)0832

いけばな  
御贈り物には花  
器を

横町の  
谷口生花店

電話 (2) 2774



## 物価上昇と 流通機構の関係

高橋ゼミ  
A 309

最近の日本経済の動きをみると、特に目につくことは、生活しにくい状態に向かっているような気がしてならない。それは、明治100年の今日、技術革新に伴うあらゆる文明の利器が発達して、生産部門においては、大量生産により、経済成長を続けているにもかかわらず、他方では、物価上昇という我々国民にあって、なんとも頭の痛いことである。この物価上昇の原因は、色々あるが、ここでは、流通機構との関係において説明する。というのは、物価の上昇が流通費の高騰に特に主な原因をなしていると考えられるからである。そこで今回のつくばね祭にこの問題をとりあげ、会場に来られる皆様が少しでも御理解いただければさいわいと考えている次第です。

内容○定期代値上げの問題

- ビールの流通機構
- 生鮮食料品の流通機構

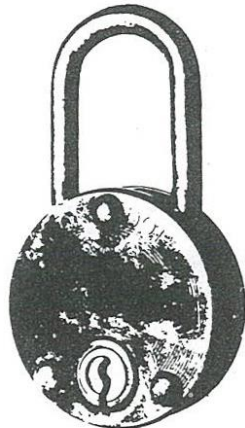
## 『稲の病害虫 に関する 統計的接近』

鈴木ゼミ  
A 314

統計学と云うと日常生活とはあまり関係のない、単なる数字の羅列に過ぎないものと思われがちである。そこで、我々統計ゼミではそのような誤解をとくために、身近な事柄をとりあげて、統計的分析を試みることにしました。

病虫害発生と天候（温度、湿度、雨量、日照時間など）また、病虫害発生と農薬使用量との関係などを数量的に把握して、稲作に及ぼす影響を考察し、病虫害の防除方法に何らかの指標となるよう数値の導出に努めた。得られた結果は諸兄々の御批判を仰ぎさらに発展させていきたいと思ひます。

くらしと  
財産を守る！



みなさまに安心をお届けするため興亜火災はあらゆる災害に備えています

住宅・店舗総合保険／月掛住宅・店舗総合保険  
火災保険・月掛火災保険／動産総合保険／自動車保険／傷害保険／賠償責任保険／運送保険／船舶保険／積荷保険／機械保険／組立保険／原子力保険／航空保険／保証保険／盗難保険／ガラス保険／船客傷害賠償責任保険／建設工事保険／自動車損害賠償責任保険／交通事故傷害保険／割賦販売代金保険／積立保険

### 興亜火災

本社・東京・日本橋室町1-5  
TEL 大代表 (270) 8611